

大崎市陸羽東線再構築検討会議について

1 設置目的

令和4年7月、JR東日本が利用の少ない路線別の経営情報を開示し、国土交通省は、有識者会議による提言を受け、ローカル線の見直しに向けた協議を進める考えを示した。

このことから、今後想定される陸羽東線にかかるJRをはじめとする沿線自治体、国、県などの関係機関協議（（仮称）特定線区再構築協議会）に向けて、本市の利活用促進策を検討する。

2 再構築検討会議の役割

陸羽東線の維持・存続に向けて、地域懇談会及び庁内検討会議の議論を踏まえ、本市の利活用促進策を取りまとめる。

<所掌事項>

- (1) 陸羽東線の利活用促進に関すること。
- (2) 陸羽東線沿線の地域活性化に関すること。
- (3) 庁内及び関係機関相互の調整に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、陸羽東線の再構築の重要事項に関すること。

3 基本的な考え方

- ▶陸羽東線は、本市における公共交通の基軸であり、鉄道を中心に路線バスや地域内公共交通などにより市内の公共交通ネットワークを形成している。
- ▶広大な市域において、市民の生活交通の維持・確保は必要不可欠なものであり、公共交通に対する市民ニーズが多様化している。
- ▶高齢化の進展に伴う運転免許返納者が増加し、公共交通に関するニーズが高まっていること。また、通勤・通学利用者にとっても、陸羽東線の存続は必要不可欠なものである。
- ▶一方で、陸羽東線をはじめ多くのローカル線利用者は減少傾向にあり、民間企業として赤字路線の見直しに向けた対応が求められている。
- ▶そのような状況の中で、陸羽東線存続に向けて市内のみならず市民や関係団体と共に、陸羽東線の厳しい現実を直視し、当該路線の維持・存続につながる利活用促進策を市民と共に検討・協議する。
- ▶沿線自治体として陸羽東線の存続に向けて何ができるのか。オブザーバーとして参加いただく方々からも、適宜、ご意見をいただき、本市の考え方を今年度中に取りまとめたい。

陸羽東線再構築に向けた検討スキーム

大崎市陸羽東線再構築検討会議

会 長：吉田副市長
副 会 長：尾松副市長
幹 事 長：市民協働推進部長
幹 事：総務部長，民生部長，産業経済部長，
建設部長，教育部長，病院経営管理部長，
岩出山総合支所長，鳴子総合支所長 11名
オブザーバー：東北運輸局鉄道部計画課長，観光部観光
企画課長，交通政策部交通企画課長
宮城県経済商工観光部参事兼観光政策課
長，企画部地域交通政策課長
J R 東日本東北本部総務部企画課長
みやぎ大崎観光公社常務理事兼事務局長
鳴子温泉郷観光協会事務局長 8名
事務局：まちづくり推進課（政策課，観光交流課）

庁内関係課会議

構成員：人財育成課，政策課，社会福祉課，産業商工
課，観光交流課，都市計画課，学校教育課，
岩出山地域振興課，鳴子地域振興課 9課

古川地域懇談会

参集者：市民代表（古川まちづくり協議会
沿線の地域自治組織），古川商工
会議所，おおさき青年会議所，
みやぎ大崎観光公社，大崎市工業
会，古川地域内高校5校PTA

岩出山地域懇談会

参集者：市民代表（岩出山まちづくり協
議会 他5地区の地域自治組織），
玉造商工会，岩出山観光協会，
岩出山高PTA，岩出山中PTA，
岩出山地域内公共交通運営委員会

鳴子温泉地域懇談会

参集者：市民代表（鳴子まちづくり協議会
他6地区の地域自治組織），
鳴子温泉郷観光協会，玉造商工会，
鳴子中PTA，鳴子小PTA，
鳴子御殿湯駅乗車券類発売管理組合

4 庁内関係課会議及び地域懇談会の役割

(1) 庁内関係課会議

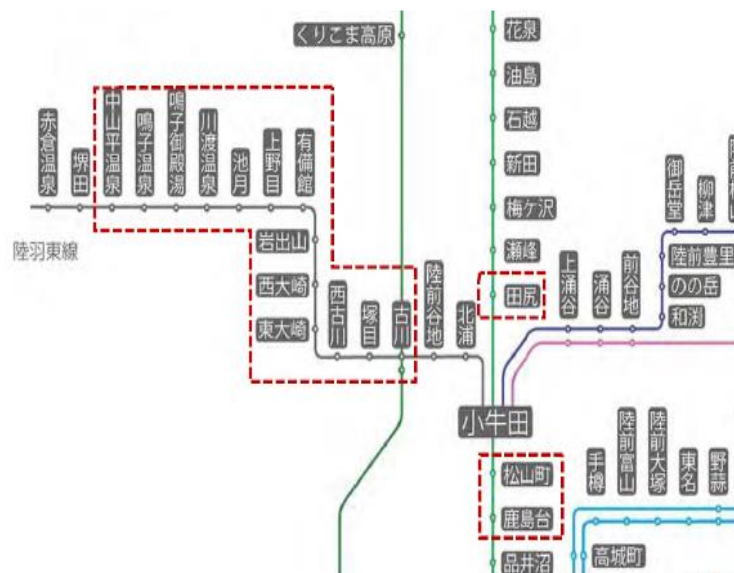
- ▶再構築検討会議の作業部会
- ▶利活用促進策の提案
- ▶地域懇談会の意見集約

(2) 地域懇談会

- ▶陸羽東線の利活用促進策の提案
- ▶まちづくりと連携した事業提案
- ▶各駅に向けた二次交通の提案
- ▶各団体の意見集約
- ▶各団体への検討経過の報告

【市内の鉄道駅】

東北新幹線	古川駅
JR 東北本線	鹿島台駅、松山町駅、田尻駅
JR 陸羽東線	古川駅、塚目駅、西古川駅、東大崎駅、西大崎駅、岩出山駅、有備館駅、上野目駅、池月駅、川渡温泉駅、鳴子御殿湯駅、鳴子温泉駅、中山平温泉駅



JR 東日本資料より

5 協議スケジュール

J R, 国・県等からの情報収集を行いながら, 再構築検討会議, 関係課会議および地域懇談会において, 利用促進に向けた検討・協議と研修会等を実施する。

	R4.8月	9月	10月	11月	12月	R5.1月	2月	3月
再構築検討会議			会議① 10/20		会議② 12/26			会議③
庁内関係課会議	会議①			会議② 視 察	会議③ 研修会		会議④	
地域懇談会		団体へ の説明	団体へ の説明	会議① 視 察	会議② 研修会		会議③	

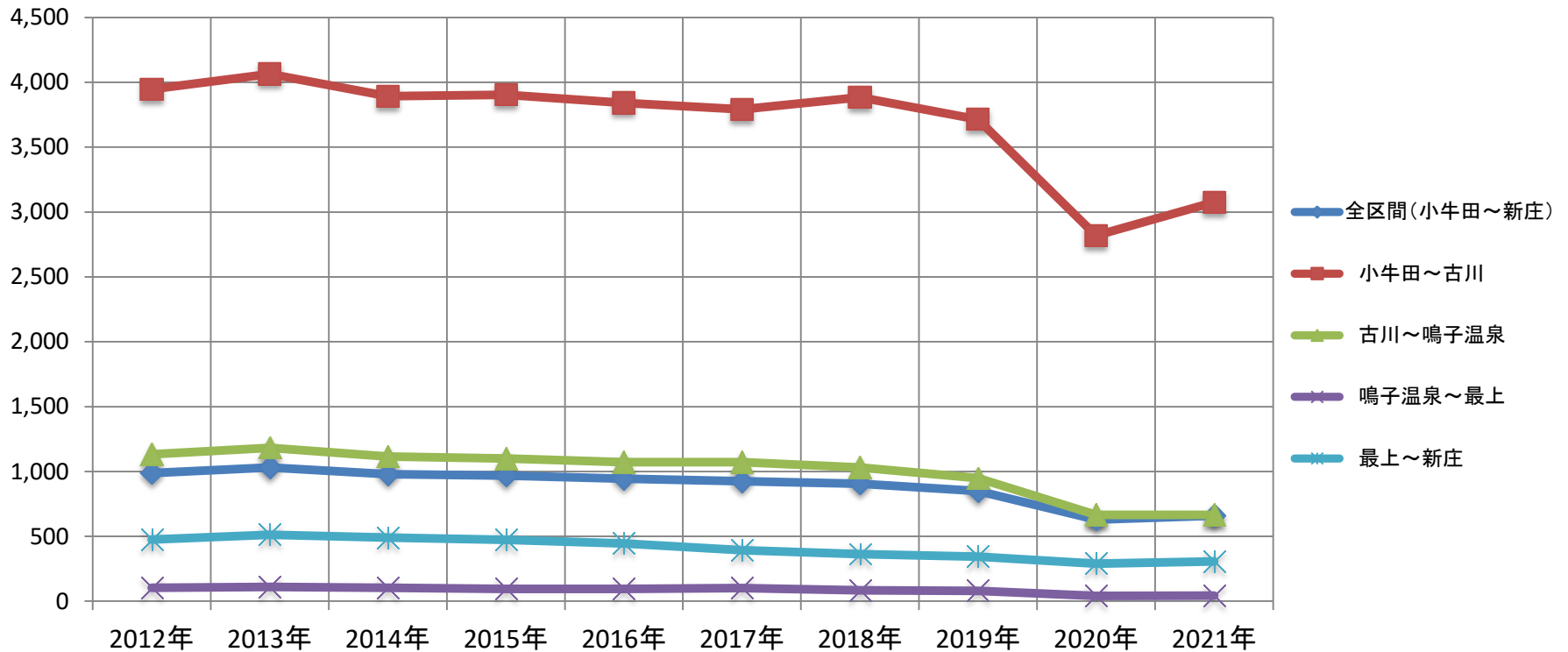
<実施概要>

- ▶ 会議については, 庁内関係課会議, 地域懇談会において利活用促進策のアイデアを出し, 短期・中長期等に分類・整理。最終的に, 再構築検討会議において方向性をまとめる。
- ▶ 視察については, ローカル線の利活用促進等に関する先進事例を視察する。
- ▶ 研修会については, 鉄道の専門家を招聘し, 地域と連携した利活用促進に関する実践例等を学ぶ。

(参考) 陸羽東線の平均通過人員 (2012年～2021年)

(単位：人／日)

	1987年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
全区間(小牛田～新庄)	2,411	988	1,032	980	969	944	925	906	850	629	660
小牛田～古川	8,926	3,947	4,064	3,893	3,904	3,842	3,791	3,885	3,714	2,818	3,075
古川～鳴子温泉	2,740	1,132	1,182	1,115	1,100	1,071	1,073	1,032	949	666	665
鳴子温泉～最上	456	103	110	103	94	95	101	85	79	41	44
最上～新庄	1,273	476	513	490	474	446	394	363	343	289	306



JR東日本ウェブサイトより